

## 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査（本調査）の実施（骨子）

国立教育政策研究所教育課程研究センター

### 1 調査目的

中学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした生徒の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

### 2 調査内容

○ 調査目的の趣旨に基づき、下記の①～③の視点に基づいた検証すべき事項を踏まえた調査を実施する。

①今次改訂の基本方針に関する事項

②各教科等の主な改善事項（新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項等）

③前回の調査等で課題とされている事項等

### 3 調査実施予定時期

令和5年11月～令和6年3月（令和6年度内に分析、令和7年度結果公表予定）

### 4 調査対象

(1) ペーパーテスト調査

【第1学年～第3学年】

国語、社会、数学、理科、外国語（英語）

【第2学年】

保健体育（体育分野）

【第3学年】

音楽、美術、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（保健分野）

※技術・家庭（技術分野）については、C B T調査を実施する予定

(2) 質問紙調査

①生徒及び教師に対するもの

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）、  
特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動

※実施学年については検討中

②学校に対するもの（ペーパーテスト調査を実施する学校の代表が回答）

学校の教育活動全般に関する事項

(3) 実技調査を行う教科

【第2学年】

保健体育（体育分野）

【第3学年】

美術、技術・家庭（家庭分野）、外国語（英語）

### 5 調査の形式

○ 調査対象となる生徒数は、各教科1問あたり3,600人程度。

○ 調査終了後、生徒の解答結果を分析するために、必要に応じて実施対象校の訪問等を行う。

○ 調査問題は原則として非公開、個々の学校及び生徒の調査結果は非公開とする。

### 6 予備調査

上記調査に先立ち、調査実施の方法・手順等に関する妥当性を測るため、今年度中に予備調査を実施することとしています。

予備調査対象校は、本調査における問題作成委員会を通じて本研究所が選出する予定です。

については、貴管下及び域内の学校が予備調査の候補の学校となった場合には、改めて御連絡いたしますので、御協力くださるようお願いいたします。